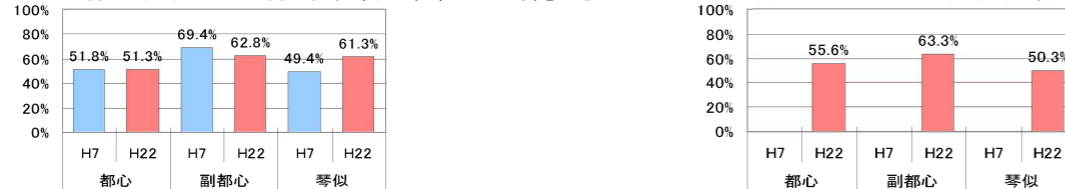


5. 調査結果（乗用車の駐車場の利用状況）

① 地区全体の平均ピーク時在車率

・ 地区全体の平均ピーク時在車率（「街区単位のピーク時利用台数を地区全体で集計した台数」/「総収容台数」）は、図11・12のとおりである。在車率を平成7年と比較すると、都心地区では変化はなく、副都心地区では減少、琴似地区では増加している。平日・休日ともに、3地区の在車率に余裕がある。

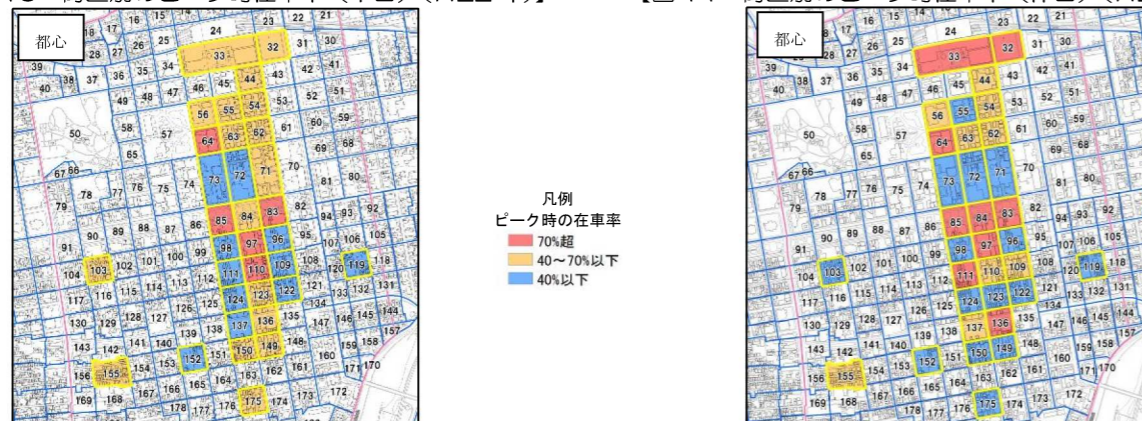
【図 11 地区全体の平均ピーク時在車率（平日）（H22年）】 【図 12 地区全体の平均ピーク時在車率（休日）（H22年）】



② 都心地区の街区別ピーク時在車率

・ 街区別に、ピーク時の在車率（「駐車台数」/「収容台数」）を見ると、70%以上となる街区がある一方で、40%以下となる街区もあるなど開きがある。また、休日は、商業施設周辺では、在車率が高いなど、街区内にある建物特性により、ピーク時の在車率が異なっていると考えられる。

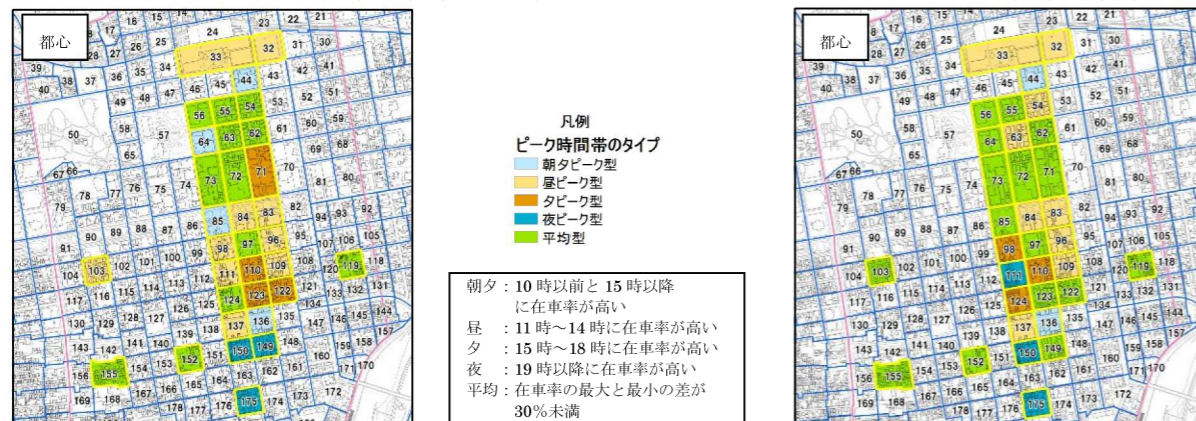
【図 13 街区別のピーク時在車率（平日）（H22年）】 【図 14 街区別のピーク時在車率（休日）（H22年）】



③ 都心地区の街区別在車率のピーク時間帯

・ 街区別の在車率を時間帯別に見ると、商業施設周辺では昼に、すすきの駅の南側では夜に在車率が高くなるが、事務所が多い場所では、時間帯別の在車率の変動が小さいなど、街区内にある建物特性により、在車率のピーク時間帯が異なっていると考えられる。

【図 15 街区別在車率のピーク時間帯（平日）（H22年）】 【図 16 街区別在車率のピーク時間帯（休日）（H22年）】

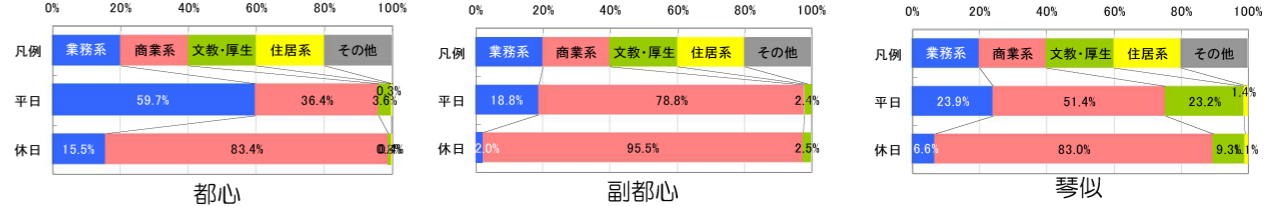


6. 調査結果（駐車目的）

① 駐車場利用者の目的地

・ 駐車場利用者の駐車目的を、目的施設ごとに見ると、3地区すべてで、「業務系」施設利用者の割合は、平日の方が高く、また、「商業系」施設利用者の割合は、休日の方が高い。

【図 17 駐車場利用者の目的施設の割合（H22）】

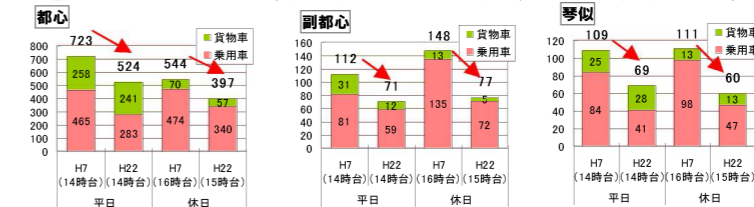


7. 調査結果（路上駐車状況）

① 路上駐車台数の推移（H7年 ⇒ H22年）

・ 乗用車と貨物車の合計台数がピークとなる時間の路上駐車台数は、3地区すべてで減少している。
 ・ 「乗用車」の路上駐車台数は、3地区すべてで減少している。
 ・ 「貨物車」の路上駐車台数は、都心地区・琴似地区では大きな変化がなく、副都心地区では減少している。

【図 18 ピーク時（乗用車・荷さばき車両）の路上駐車台数（台）】



② 都心地区の時間帯別の路上駐車台数

路上駐車合計台数を時間帯別に見ると、平日は14時と20時に多い。また、平日の、車種別の路上駐車台数は、多い順に、乗用車・貨物車・タクシーである。これらは、沿道駐車場の出入口が無いなど、路上駐車しやすい場所に、入れ替わりで駐車されている。

「乗用車」
 ・ 平日は、ピークは17時であり、その時には301台発生している。ピーク時台数の9割（270台）以上の台数が、13時から20時まで、継続して発生している。

「貨物車」
 ・ 平日は、9時と14時に増加する傾向がある。

【図 19 都心地区の時間帯別の路上駐車台数の推移】

